




第77期
中間事業
レポート

平成19年11月1日 ▶ 平成20年4月30日

 株式会社ミロク
証券コード 7983

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、
 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 ここに、第77期(平成19年11月1日から平成20年4月30日まで)の
 中間事業レポートをお届けいたします。
 今後とも株主の皆様から厚いご指導、ご支援を賜りますよう、
 何卒よろしくお願い申し上げます。

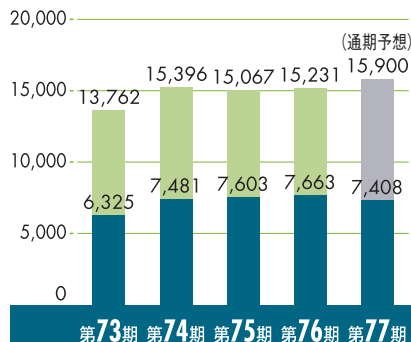


平成20年7月
 代表取締役社長 弥勒 美彦

ハイライト情報(連結)

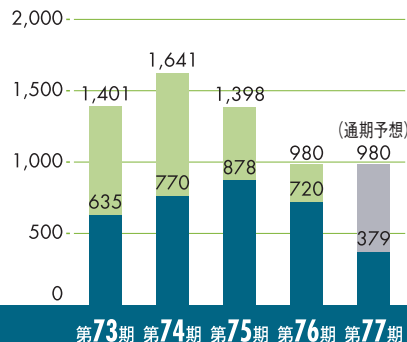
売上高

単位:百万円



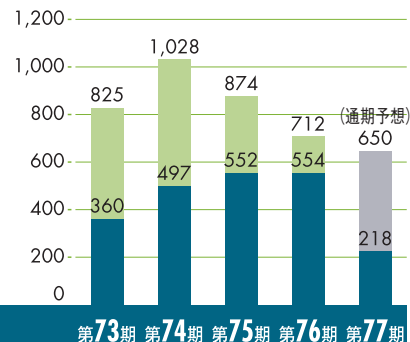
経常利益

単位:百万円



当期(中間)純利益

単位:百万円



中間決算の概要 景気の不透明感が強まるなか、業績向上に努めました。

当中間連結会計期間の日本経済は、原油価格の高騰や米国サブプライムローン問題に端を発した金融情勢の混乱から、為替相場は急激なドル安円高基調となり、株式市場も低迷をきたすなど、景気はますます先行き不透明な状況に陥りました。

このような状況のもと、ミロクグループは顧客の期待に応えられるより良い製品作りを目指し、独自性の高い製品の開発や品質向上、また生産効率の向上および原価低減への取り組みなど、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結売上高は7,408百万円(前年同期比3.3%減)となりました。また利益面では、営業利益247百万円(前年同期比53.8%減)、経常利益379百万円(前年同期比47.3%減)、中間純利益は218百万円(前年同期比60.6%減)となりました。

戦略と課題 三事業を中核に据え、顧客ニーズに即したモノ作りの体制と体質を強化。

今後もミロクグループは、資本効率を追求した経営体制の確立とコスト構造の改革を実施し、経営効率向上に力を注ぎます。

猟銃事業では、購買意欲を刺激する新製品の開発とタイムリーな市場投入、高付加価値・高品質化の推進、さらに一層の生産革新活動を進め、収益の改善に努めます。工作機械事業の目標は、安定した収益の積み上げです。機械部門は顧客層の拡大を狙った廉価な汎用機の開発、ツール部門は需要獲得に向けた新製品の開発、加工部門は営業体制の強化による新たな顧客の獲得に邁進します。自動車関連事業では、トップライン(売上)の成長を目指し、トヨタ生産方式の本格的展開による継続的改善と新たな製造技術の導入を図ると同時に、純木製ステアリングハンドルに的を絞った新製品の開発と新分野への飛躍に取り組んでまいります。

今後の見通し 厳しい環境下でも競争力を強化し、企業価値の向上に全力を尽くします。

下半期につきましても、原油価格の高騰による原材料のさらなる上昇に加え、株式ならびに為替相場の変動など不透明感が高まっており、厳しい企業環境が予想されます。このような環境のもと、当社はグループ企業の純粋持株会社として、グループ企業全体の成長と収益性向上を目指し、各々の事業分野で市場動向を踏まえた事業戦略の立案に取り組む所存です。機動的な対応によって競争力をより一層強化させ、企業価値の向上に全力を尽くしてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、売上高15,900百万円(前期比4.4%増)、営業利益790百万円(前期比15.1%増)、経常利益980百万円(前期比0.1%減)、当期純利益650百万円(前期比8.7%減)を見込んでおります。

事業別営業概況 Operating Overview

Ⅲ 猟銃事業

売上高
3,293百万円

売上高
構成比
44.4%

ショットガン



ライフル



Ⅲ 営業概況

主力となる米国市場におきまして、原油価格の高騰やサブプライムローン問題などの影響から、付加価値の高い上下二連続が厳しい状況にあります。しかしながら、販売数量はショットガン・ライフルとも前年同期を若干上回りました。利益面につきましては、ライフルの主力製品であるボルトアクションライフルの既存製品の値下げや新製品の量産立ち上りの遅れ、鋼材や木材の値上がり、減価償却費の増加などにより前年同期を下回りました。その結果、売上高は3,293百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は27百万円(前年同期比69.1%減)となりました。

Ⅲ 工作機械事業

売上高
1,845百万円

売上高
構成比
24.9%



Ⅲ 営業概況

自動車・金型関連業界を中心とする設備投資は、底堅い需要があるものの、不透明な経済環境を見据えた慎重な投資傾向にあります。売上高は、機械部門の納入先の検収の遅れが発生したことにより、前年同期を下回りました。利益面につきましても、売上減に加えて設備投資による償却負担の増加などが影響し、前年同期を下回りました。その結果、売上高は1,845百万円(前年同期比13.1%減)、営業利益は332百万円(前年同期比37.8%減)となりました。なお、売上高につきましては、セグメント間の内部売上高7百万円を含んでおります。

自動車関連事業

売上高
2,254百万円

売上高
構成比
30.4%



ウォールナット
(くるみ)製



メイプル
(かえで)製



シフトノブ



レバーコンビネーションスイッチ

営業概況

自動車業界は、引き続き堅調に推移しております。主力となる純木製ステアリングハンドルの販売数量は、ほぼ横ばい、シフトノブは前年同期を若干下回りました。また、事業現場におけるトヨタ生産方式の本格的な展開によって、リードタイムの短縮や1人当たりの生産性が向上するなどの効果が徐々に現れ始めております。その結果、売上高は2,254百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益は13百万円(前年同期比17.6%増)となりました。

※自動車関連事業は、持分法適用関連会社である(株)ミロクテクノウッドを中核としており、同事業の発展・成長は、主に持分法投資利益の増加を通じて、当社連結業績に反映されます。

その他事業

売上高
22百万円

売上高
構成比
0.3%



愛知県名古屋市/徳川園



広島県豊田郡本郷町/中央森林公園・三景園

営業概況

木工事業部門では、猟銃用木材の耐候性研究から生まれた独自の含浸技術を屋外建築用木材に応用した「ミロモックル製品」の普及に取り組んでいます。リゾートパークやイベントパークなどの公園施設、大規模公園内のオートキャンプ場、さらにテーマパーク整備事業などにも積極的に参入。また、ウッドデッキなどの一般住宅用建材向けの加工・施工にも力を注いでいます。しかしながら、公共投資の低迷などが影響し、厳しい環境が続いております。その結果、売上高は22百万円、営業損失は1百万円となりました。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間末 (平成20年4月30日)	前連結会計年度末 (平成19年10月31日)	科目	当中間連結会計期間末 (平成20年4月30日)	前連結会計年度末 (平成19年10月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	6,836,238	6,661,798	流動負債	5,388,620	5,471,554
現金及び預金	888,763	976,532	支払手形及び買掛金	2,275,237	2,303,407
受取手形及び売掛金	2,661,492	2,877,602	短期借入金	1,800,000	1,800,000
たな卸資産	2,941,265	2,434,962	1年以内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
繰延税金資産	167,145	93,693	未払法人税等	224,322	79,224
その他	198,808	301,859	賞与引当金	250,009	135,239
貸倒引当金	△21,236	△22,851	役員賞与引当金	17,300	34,600
固定資産	9,380,005	9,375,407	その他	521,751	819,084
有形固定資産	5,384,727	5,509,402	固定負債	2,766,021	2,674,702
建物及び構築物	1,584,608	1,634,404	社債	200,000	200,000
機械装置及び運搬具	1,973,177	2,011,313	長期借入金	1,200,000	1,200,000
土地	1,568,295	1,568,295	繰延税金負債	317,830	295,531
その他	258,646	295,389	退職給付引当金	880,679	825,237
無形固定資産	67,604	74,212	役員退職慰労引当金	167,511	153,932
投資その他の資産	3,927,673	3,791,792	負債合計	8,154,641	8,146,257
投資有価証券	2,712,186	2,586,089	純資産の部		
繰延税金資産	451,923	449,286	株主資本	7,636,896	7,486,370
その他	913,765	910,623	資本金	863,126	863,126
貸倒引当金	△150,203	△154,207	資本剰余金	519,289	519,289
資産合計	16,216,244	16,037,205	利益剰余金	6,326,414	6,174,819
			自己株式	△71,933	△70,864
			評価・換算差額等	418,676	397,494
			その他有価証券評価差額金	418,839	397,172
			為替換算調整勘定	△162	321
			少数株主持分	6,028	7,083
			純資産合計	8,061,602	7,890,948
			負債及び純資産合計	16,216,244	16,037,205

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	(自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)	(自 平成18年11月1日 至 平成19年4月30日)
売上高	7,408,995	7,663,443
売上原価	6,347,847	6,338,669
売上総利益	1,061,148	1,324,774
販売費及び一般管理費	813,448	788,353
営業利益	247,699	536,421
営業外収益	170,352	208,734
受取配当金	9,121	9,281
持分法による投資利益	118,620	158,117
その他	42,610	41,334
営業外費用	38,588	24,687
支払利息	24,493	18,485
その他	14,094	6,202
経常利益	379,464	720,467
特別利益	5,702	170,199
貸倒引当金戻入益	5,619	987
その他	83	169,211
特別損失	5,434	61,219
固定資産除却損	2,934	7,526
役員弔慰金	—	40,000
その他	2,500	13,692
税金等調整前中間純利益	379,732	829,447
法人税、住民税及び事業税	234,505	275,100
法人税等調整額	△73,325	△408
少数株主利益	288	223
中間純利益	218,263	554,532

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	(自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)	(自 平成18年11月1日 至 平成19年4月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	454,213	323,654
投資活動による キャッシュ・フロー	△442,286	△367,945
財務活動による キャッシュ・フロー	△92,536	△86,532
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△7,159	325
現金及び現金同等物の 減少額	△87,769	△130,497
現金及び現金同等物の 期首残高	976,532	925,882
現金及び現金同等物の 中間期末残高	888,763	795,385

中間連結株主資本等変動計算書 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)

(単位：千円)

	株 主 資 本				評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
平成19年10月31日残高	863,126	519,289	6,174,819	△70,864	7,486,370	397,172	321	397,494	7,083	7,890,948
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△66,667		△66,667					△66,667
中間純利益			218,263		218,263					218,263
自己株式の取得				△1,069	△1,069					△1,069
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の 変動額(純額)						21,667	△484	21,182	△1,055	20,127
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	151,595	△1,069	150,526	21,667	△484	21,182	△1,055	170,653
平成20年4月30日残高	863,126	519,289	6,326,414	△71,933	7,636,896	418,839	△162	418,676	6,028	8,061,602

中間個別財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間会計期間末 (平成20年4月30日)	前事業年度末 (平成19年10月31日)
資産の部		
流動資産	2,634,300	2,707,900
固定資産	6,313,049	6,191,094
有形固定資産	2,149,291	2,184,007
無形固定資産	328	718
投資その他の資産	4,163,429	4,006,368
資産合計	8,947,349	8,898,994
負債の部		
流動負債	2,137,210	2,350,972
固定負債	1,790,088	1,769,115
負債合計	3,927,298	4,120,087
純資産の部		
株主資本	4,607,546	4,395,602
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	531,290	531,290
利益剰余金	3,257,225	3,044,212
自己株式	△44,096	△43,027
評価・換算差額等	412,504	383,304
その他有価証券評価差額金	412,504	383,304
純資産合計	5,020,051	4,778,907
負債及び純資産合計	8,947,349	8,898,994

中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)	前中間会計期間 (自 平成18年11月1日 至 平成19年4月30日)
営業収益	438,526	481,222
営業費用	188,018	157,150
営業利益	250,507	324,071
営業外収益	69,974	69,195
営業外費用	24,493	18,989
経常利益	295,988	374,277
特別利益	—	154,932
特別損失	2,786	59,095
税引前中間純利益	293,201	470,113
法人税、住民税及び事業税	17,584	516
法人税等調整額	△4,062	62,448
中間純利益	279,680	407,149

中間株主資本等変動計算書 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)

(単位：千円)

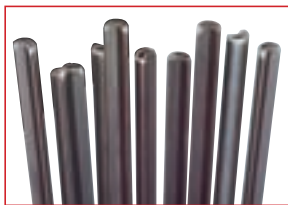
	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成19年10月31日残高	863,126	531,290	3,044,212	△43,027	4,395,602	383,304	4,778,907
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△66,667		△66,667		△66,667
中間純利益			279,680		279,680		279,680
自己株式の取得				△1,069	△1,069		△1,069
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						29,199	29,199
中間会計期間中の変動額合計	—	—	213,012	△1,069	211,943	29,199	241,143
平成20年4月30日残高	863,126	531,290	3,257,225	△44,096	4,607,546	412,504	5,020,051

Topics トピックス

高知テクノパークの新工場で 生産性の向上と新素材開発を推進

昨年、高知テクノパーク(高知県香美市)に開設した「部品加工センター」は、順調に稼働しています。鉄骨二階建て・延べ床面積4,740平方メートルの新工場には、南国市の部品工場などに分散していた猟銃部品の生産工程を結集。銃のフレームに組込む部品などを自動的に製造する最新鋭の設備や、効率性を追求した生産ラインの導入により、加工時間の短縮を図るなど、コスト削減に取り組んでおります。

また、今後は、隣接する高知工科大学との産学連携によって、銃をはじめ幅広い分野の新素材開発に取り組んでいきます。



米国トップメーカーと手を結び 「ミロク★スター ガンドリル」を開発

自動車・金型業界を中心に、揺るぎない信頼を獲得しているミロクのガンドリルマシン。その消耗ツールであるガンドリルに、新商品がラインナップしました。米国のガンドリルマシン大手、スターカッター社と共同開発した「ミロク★スター ガンドリル」です。ドリルの先端部分にはタングステンカーバイト合金を採用し、刃先の形状も改良しました。シャンク(棒部分)も材質を変更し、特殊熱処理を施して耐久性をアップ。これによって切削時間を10~15%短縮することが可能となり、製品寿命も向上しました。

工作機械事業では、この「ミロク★スター ガンドリル」シリーズの商品拡充に力を入れ、収益の柱に成長させる計画です。

会社概要

社 名：株式会社ミロク
Miroku Corporation

所 在 地：高知県南国市篠原537番地1

設 立：1946(昭和21)年7月5日
2003(平成15)年5月1日持株会社化

資 本 金：863,126千円

従 業 員 数：561名(連結対象子会社含む)

事 業 内 容：**猟銃事業**
猟銃の製造および販売

工作機械事業
深孔加工機等工作機械・工具の製造
および販売

自動車関連事業
自動車用部品の製造および販売

その他事業
木工製品の加工および販売

連結子会社

株式会社ミロク製作所
株式会社ミロク精工
株式会社香北ミロク
株式会社梶原ミロク
ミロク機械株式会社
MIROKU MACHINE TOOL, INC.
株式会社馬路ミロク

役員

代表取締役社長：弥勒 美彦
代表取締役専務：田中 勝久

取 締 役：四手井 洋一
取 締 役：荒井 瑞夫
取 締 役：チャールズ・グブラumont
取 締 役：近藤 久視
取 締 役：堀川 洋幸
取 締 役：ジャン・ピエール・ワレマック

常 勤 監 査 役：深見 裕夫
監 査 役：山本 吾一
監 査 役：加藤 康彦
監 査 役：大西 俊郎

関連会社

株式会社ミロク工芸
ニッサンミロク株式会社
株式会社ミロクテクノウッド
T&M USA INC.
株式会社特殊製鋼所
株式会社ミロク興産

Stock
Information
(平成20年4月30日現在)

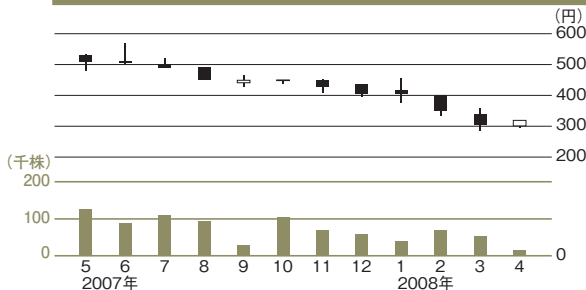
株式の状況

発行可能株式総数……………50,000,000株
発行済株式総数……………15,027,209株
株主数……………1,275名

大株主(上位10名)

	持株数 (千株)	出資比率 (%)
ブローニング・アームズ・カンパニー (常任代理人 野村証券株式会社)	1,474	9.81
株式会社ミロク興産	997	6.63
日本興亜損害保険株式会社	789	5.25
株式会社四国銀行	710	4.72
株式会社高知銀行	665	4.43
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	580	3.85
株式会社西島製作所	577	3.83
ミロク共栄会	524	3.49
日油株式会社	491	3.26
明治安田生命保険相互会社	444	2.95

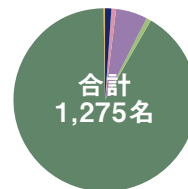
株価・売買高の推移



株式分布状況

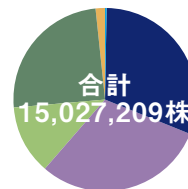
所有者別株主数

■ 政府・地方公共団体	1名 (0.08%)
■ 金融機関	16名 (1.25%)
■ 金融商品取引業者	8名 (0.63%)
■ その他の法人	74名 (5.80%)
■ 外国法人等	9名 (0.71%)
■ 個人・その他	1,166名 (91.45%)
■ 自己名義株式	1名 (0.08%)



所有者別持株数

■ 政府・地方公共団体	45,600株 (0.30%)
■ 金融機関	4,635,623株 (30.85%)
■ 金融商品取引業者	13,198株 (0.09%)
■ その他の法人	4,541,828株 (30.22%)
■ 外国法人等	1,838,845株 (12.24%)
■ 個人・その他	3,737,047株 (24.87%)
■ 自己名義株式	215,068株 (1.43%)



※ ホームページのご案内

企業・製品・採用情報のほか、投資家情報コーナーも充実させ、財務データや決算短信などを公開しています。銃作りの工程を分かりやすく紹介した「バーチャル工場見学」も好評です。ぜひご覧下さい。



URL <http://www.miroku-jp.com/>

株主メモ

事業年度：毎年11月1日から翌年10月31日まで

基準日：定時株主総会 10月31日
剰余金の配当 期末 10月31日
中間 4月30日

株主名簿管理人：〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所：〒530-004
(お問い合わせ先) 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(フリーダイヤル)

同取次所：三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村證券株式会社 全国本支店

公告方法：電子公告の方法により行います。
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、
日本経済新聞に掲載します。
電子公告掲載URL
<http://www.miroku-jp.com/>

単元株式数：1,000株

証券コード：7983

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行
株式会社の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(フリーダイヤル)
0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)

インターネットホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>